楽しい社会科を考える
３年生の消防の学習では、どのような授業が考えられますか？
ええっ!?
それは消防署の見学です。見学だけでこの単元は終わりですね。
えへへ！
ん～？
消防署では火災発生から消火、火事が起きないようにすることまで丁寧に教えてくれるよ。
でも、それでは教材を伝えただけの受け身の学習で、子どもたちに力がつくのかな？
では、教材を生かす学習の例を見てみましょう。
楽しい社会科を考える
火災現場の様子です。火事の件数や被害、原因のグラフも併せて見てみよう。
火事はすぐに燃え広がるんだね。消防士さんは、どうやったら早く現場に行けるかな？
火事は恐ろしいね。
たくさんの人が火災現場で働いているね。
火を消す以外、何をしているのだろう。
それなら学習問題を、「火事から安全を守るために、誰がどのような取り組みをしているのか？」にして調べてみましょう。

学習問題
火事から安全を守るために誰がどのような取り組みをしているのか。
〔学習計画〕
・消防の設備
・現場に早くつく工夫
・消防士の仕事
・火事を防ぐ工夫
消防隊員は火を消したり、人を助けたりしているね。
おまわりさんも働いているね。水を使うから水道局の人もかな？
教科書も参考にして学習計画を立てましょう。
まず、学校や学校の周りの消防設備を調べよう。
消火器や消火栓は火を消すためだね。
消火栓
消火器
校長先生は防火扉やプールの水も使うと言っていたよ。
火災報知器や職員室の警報装置は避難するためかな。
地域には消火栓がたくさんあるね。
消火栓
防災倉庫や防火水槽もあると、近所の消防団の人が言っていたよ。
では、消防団の人にも話を聞いてみましょう。
消火器
消防署から連絡が入ると、この防災倉庫にある道具を使って現場に駆けつけます。
自分の仕事をしながら訓練などもやっていて大変じゃないかな。
消防団では、自分たちの地域は自分たちで守ることを大切にしているんだね。

やっと来られたね。
消防署だ。
○○消防署
消防隊員かっこいい！
消防車や様々な道具を
使って火災から人々を
守っているんだね。
火事のないときは
訓練やトレーニングを
しているんだね。
救急車もあるよ。
救急救命や
救助もあるね。
救急救命士は、
救急車でけがをした人を
運ぶ間に手当てをする
ことができる隊員です。
119番の電話は消防署に
つながるのですか？
火事です！
通信指令室
電力会社
ガス会社
水道局
けいさつしょ
病院
消防団
予告指令
出動指令
消防しょ
出ちょう所
119番は通信指令室にかかり、
同時に指令が始まります。病院や
警察署など関係するところにも
連絡をして、協力してもらいます。
教科書の動画を見て、
見学についてまとめましょう。
通信指令室を中心に
様々な機関が連携して
活動するんだね。
連絡を受けた警察や病院、
水道局や電気会社の
役割も調べてみよう。

警察は、現場の安全確保、交通整理だけでなく、被災者を救出したり、行方不明者の捜索をしたりするんだね。
ふたりともいいぞ!!
病院は、救急車が到着したらすぐに処置ができるよう、電話で救急隊に確認して準備をするんだね。
水道局
私は水道局について調べてみました。水道局は消防活動に必要な水量を確保し、適切な圧力を維持することが重要です。
フムフム
電力会社が電気を遮断し、感電や火災の拡大を防ぐそうだよ。
私たちはどのようなことができるかな。
学校の避難訓練にしっかりと取り組むことが大事だと思います。
火事の原因を作らないように家族で気をつけたいと思います。
オ〜
私たちも地域の皆さんと協力して安全を守っていきましょう。
この単元では様々な機関が連携して人々を守っていることに気づかせたいですね。
楽しい社会科を考える
だから、消防署だけでなく、消防団や他の機関との関係を見ていくことが必要なんですね。
しかも体験的に学んでいく学習活動で、子どもたちが学びを深めることができますね。
まずは自分で体験!消火器を使ってみるぞ!
あれって、消火器はどこだっけ……